

令和3年度 研究概要

研究推進担当者会議

<p>所属名</p> <p>カリキュラムセンター</p>	<p>研究会議名</p> <p>体育・保健体育研究会議</p>
<p>研究主題</p>	<p>一人ひとりが自ら考え、「よりよくできる」を目指す体育学習 ～試行錯誤を通して、主体的に学ぶ姿～</p>
<p>資質・能力 育成を目指す</p>	<p>課題の解決に向けて試行錯誤を重ねるとともに、他者と協働しながら課題を解決していく 思考力、判断力、表現力等。</p>
<p>研究内容</p>	<p>小学校学習指導要領解説体育編および中学校学習指導要領解説保健体育編では、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する観点を踏まえ、体育の見方・考え方を「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること」としている。体育は、「する」ことだけではなく、「みること」「支えること」「知ること」など、自己の適性等に応じて、運動やスポーツとの多様な関わり方について考えることを意図している。体育学習においては、技能の「できる」だけでなく、課題発見や仲間へのアドバイス、取り組み方の工夫などを価値づけ、「体育が好き」「体育は楽しい」「体育は大切」と実感させる授業が求められている。</p> <p>体育における技能の習得は、児童生徒にとっての目標であり、課題設定の源であることは言うまでもないが、本研究会議では、「できるようになりたい」「もっと上手になりたい」といった子どもの願いをもとに、そのためには、「何を（課題）」、「どうすれば（課題解決の方法）」といった思考力、判断力、表現力等の育成を学習の中心とした研究を進める。</p> <p>学びを深めるための教師の発問、試行錯誤させるための仕掛けなどを単元計画に意図的に設定し、子どもの「なぜ？」や「あっ、なるほど」などを引き出していきたい。学習前、学習後のアンケート、学習カードの記述内容の分析等を通して、成果や課題をまとめていく。</p>